

訪問リハビリテーションの詳細

当ステーションの訪問リハビリテーションは、理学療法士や作業療法士がご自宅に訪問して運動療法や動作練習など、身体の状態や日常生活の状況に即したリハビリテーションを行うサービスです。他事業所や他職種と連携しながら、住み慣れたところで、安全にいきいきとした生活が送れるように支援しています。また、必要に応じて住宅改修や福祉用具利用のアドバイスや介助方法の指導も行っています。

【訪問リハビリテーションサービスの内容】

医師の指示の下に、ケアプランに沿って訪問リハビリテーション計画書を作成し実施いたします。

- ・ 関節拘縮の予防・改善、筋力の維持・強化
- ・ 寝返り・起き上がり等、基本動作の練習・介助方法の指導 ベッドや
- ・ 床からの立ち上がり動作や車椅子などへの移乗動作の練習 歩行（自
- ・ 宅内外）練習・車椅子操作の練習・介助方法の指導 自主的な運動方
- ・ 法の指導
- ・ 手摺の設置や福祉用具利用のアドバイス

上記内容以外にも身体の状態や住環境を踏まえ、ご利用者一人ひとりに合わせた個別リハビリテーションを行っています。

【リハビリテーションサービスを利用するときのワンポイント知恵袋】

訪問リハビリテーションを提供している事業所には基本理念・方針の違いがあり、それぞれに独自性があります。

また、理学療法だけでなく作業療法や言語聴覚療法が適応となる方もいます。ご利用に際しては、主治医・ケアマネージャーとよくご相談されると、利用し始めてから考えていた内容と違うといった事が少なくなります。また、訪問リハビリテーションと通所リハビリテーション各々のメリット・デメリットを理解した上で、どちらを利用するか選択すると良いと思います。訪問リハビリテーションは自宅で個別対応が可能ですし、普段の生活環境の中でいつも使っている道具で練習できるので、より生活に即したリハビリテーションが受けられます。ご家族は、こういった動作ができるのかを具体的に知ることができますし、生活の場で介助方法の指導を受けることができます。一方、デイケアやデイサービスといった通所系のサービスは医療・介護面やリハビリ機器が充実しており、ご家族以外の他者にも触れ合う機会が出来るなどのメリットがあります。

【リハビリテーションを円滑に進めるためのワンポイント知恵袋】

訪問あるいは通所リハビリテーションのどちらを利用する場合でも、具体的な目標を持っているとリハビリテーションが進めやすくなります。当ステーションをご利用いただいている方の中には、元気になって以前通っていたデイサービスを利用したい、近所を散歩したい等の目標を定めた方、また、家でできる運動方法やベッドと車椅子の乗り移り方を教えて欲しい。自分で出来るようになりたいといった要望があります。

麻痺や筋力低下、関節拘縮などの障害があっても練習によって身の回り動作を再獲得できたり、環境面を調整・工夫することで活動制限を最小限にすることができます。参加したいことや興味のあること、家でしたいことから目標を立ててみて下さい。その目標から必要な条件を明らかにすることで効果的なリハビリテーションが可能になるのです。

笑顔をあきらめない。

療法士はみなさまの笑顔と、幸せな暮らしを目指します。